

1 生涯学習奨励

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員の資質向上を図る。
- ②自治会との連携を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を目指す。

(2) 概要

生涯学習奨励員13名と自治会長13名を対象に実施(第2回目は奨励員のみ)。第3回「広報紙作り」研修について実施した。延べ参加者数61名(予定)。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/6(水) 8:00~17:00	視察研修 「近郊都市、渋川市の 歴史と文化を学ぶ ～北橋・子持地区～」	視察	渋川市職員、地域 団体役員、各施設 関係者ほか	24
2	11/18(土) 14:00~16:00	ディスコン研修	実習	スポーツ推進員 作宮 朗	11
3	1/30(火) 18:30~19:30	「広報紙作り」(出前講座)	講義	前橋市 市政発信課 職員	24

(4) 評価と反省

視察研修では、近郊都市である渋川市にて研修を行った。中でも、北橋・子持地区ということで本市近隣地区の理解を深める研修となった。元総社地区に史跡が多くあることもあり、従来歴史に重きが置かれている本研修だが、今回も、資料館ほか、城址や古刹を巡り、参加者は歴史を肌で感じられたようであった。研修を通し、生涯学習の一環として、歴史や、歴史を作ってきた故人の思いを継承していく大切さを実感したとの声があった。

ディスコン研修では、平成29年度から地区大会に初めて取り入れられた新スポーツ「ディスコン」について、研修を行いたいという要望があり実施した。元総社地区スポーツ推進員に講師を依頼し、参加者全員が未経験であったものの、実技を交えた講義によって、競技方法から得点のつけ方までしっかりと学ぶことが出来た。研修終了後には、各地区へ普及を率先したいという声を多く聞くことが出来、新スポーツ普及への啓発となったようであった。

出前講座にて行なう「広報紙作り」では、各地区広報紙を作成している奨励員による要望から、実施することとなった。これから実施予定であるが、広報紙を通して情報発信する立場にある奨励員と、地域の統括をする立場にある自治会長が、それぞれ効率的かつ興味深く情報を活用・伝達できる資質を向上することを目的とする。



合同視察研修（白井城址本丸にて）



奨励員単独「ディスコン研修」

2 情報提供事業

（1）「かんぼう元総社」の発行

①公民館の主催事業、各種団体の事業のお知らせや事後報告、市民サービスセンター業務を掲載し、毎月15日に発行している。平成25年10月号以降、サイズをA3版裏表半折で作成している。

②毎戸配布部数は約8,700部、年間配布部数約104,000部。発行日に合わせ、インターネット閲覧できる電子版の館報も作成し、市役所ホームページ経由で閲覧を可能としている。

③紙面拡大後の、地域団体やサークルによる記事掲載依頼も多く受けている。これまでの形式を引き継ぎ、囲み枠を外すことで紙面に開放感を与え、記事スペースの拡大を図っている。掲載情報が多いが、見出しを大きくし、目立たせることで、記事内容が分かりやすいように配慮している。

（2）ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

インターネット経由の情報発信は、行事等速報を迅速・広範に提供できるフェイスブックの活用を引き続き推進した。フェイスブックはスマートフォン経由の参照者も多く、対象となりうる個々人に広くアピールする効果がある。広報担当者以外の職員もその機能を活かし、担当事業について積極的に情報発信している。

3 家庭教育事業

すこやか学級

（1）ねらい

1. 子育てに関する学習を通して、

①明るく豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。

②育児に対する実践力を養う。

2. 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師、託児協力者との交流を通し、

①子育てに対する不安や孤独感を和らげる。

②それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。

(2) 概要

未就園児とその親を対象に、公民館報、チラシ、HPを通して参加者を募集。在籍者数11組(3～4組で1班を構成)延べ参加組数53組。託児協力者は、元総社地区の保健推進員とボランティア連絡会員。全6回の講座のうち第5回を東公民館と合同開催とした。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	7/5(水) 9:45～11:30	<開級式> ／アイスブレイク ～つくって、あそんで、 たのしもう!～	実技	明和学園短期大学 天宮 陽子	9
2	7/11(火) 10:00～11:50	リフレッシュヨガ	実技	ヨガ講師 豊森 英子	8 託児有り
3	7/19(水) 10:00～11:20	ほめて育てるコミュニケー ション・トレーニング	講義	子育て支援課長 竹渕 亨	7 託児有り
4	8/30(水) 9:50～12:00	簡単クッキング &食育のお話	講義 実技	明和学園短期大学 木村 祐美	10 託児有り
5	9/11(月) 10:00～11:35	ミニ運動会! ～みんなで一緒に ふれあい遊び♪～ (元総社・東合同開催)	実技	前橋市 子育て支援課職員 元総社・東担当職員	元:9 東:19
6	9/27(水) 9:45～11:45	わが子の手型・足型をとる ～思い出を飾ろう～ ／<閉級式>	実技	イラストレーター 飯塚 裕子	10 託児有り

(4) 評価と反省

講座は、これまでを参考に編成されている。前年度から取り組まれ、好評であったリフレッシュヨガ(第2回)を今回も実施することが出来た。受講者同士の交流時間もあり、貴重なリフレッシュタイムとなったようで、可能であれば次回も取り入れたい。また、手型・足型をとる(第6回)では、長年同じ講師にお世話になっており、こちらも記念に残るコラージュ作品づくりが大変好評である。同様に、明和学園短期大学の講師にも、従来講座をお願いしており、充実した内容であるため今後も継続したいと考えている。

また、本年も東公民館担当者の協力により、第5回では東公民館との合同開催を行った。元総社公民館を会場として親子ともに、交流の輪が広がったよう

であった。

受講者アンケートでは、「今回の講座に参加してよかったと思うか」という設問に対して、8割（10名中8名）が「とても良かった」との回答（他1名「良かった」、1名未回答）で、受講者の満足度高く終えることが出来た。どの講座も、各講師の協力により充実した内容となっているが、前年度からの連続受講者もいるため、連続受講してよかったと思ってもらえるように心掛けていくことが課題である。ほかにも、託児ボランティアの高齢化による負担増加が大きな課題となっているため、学生ボランティアを募る等して解消を目指したい。

また、元総社では家庭教育学級を例年秋頃実施していたが、今年から開催時期を早めた。アンケートでは開催時期に問題ないようであるので、今後も夏頃からの開始としたい。参加者数が昨年よりも少なかったため、事前周知に力を入れて、多くの受講者が集まるよう工夫していきたい。



リフレッシュヨガ（第2回）



コラージュ作品と記念撮影（第6回）

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”（ベビープログラム：略称BP）

（1）ねらい

- ①第一子を育てている母親を対象に講座を開催することで、同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減しながら、乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

（2）概要

子育て支援課との連携事業。第一子（2～5か月児）とその母親を対象に実施。公民館報、チラシ、HPを通して参加者を募集。在籍者数12組。延べ参加者数47組。

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
---	-------	---------	------	----	----

1	6/13(火) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子 育て支援 課職員 B P ファシリ テーター 佐藤 亮子 町田 彩	12
2	6/20(火) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			11
3	6/27(火) 10:00~12:00	赤ちゃんの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			12
4	7/4(火) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の協力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			12

(4) 評価と反省

本講座では、参加者が第一子を持つ母親同士ということで、共感出来る内容も多く、それぞれが抱える不安の解消や、交流によるリフレッシュが出来、大変有意義な時間になったようだ。

毎回講座終了後30分間を、参加者同士の時間として設けたこともあり、仲が深まったようであった。満足度が高く、今後も集まりたいという希望が多くあり、全講座



グループワークの様子(第4回)

終了後も月4回程集まり、交流をしていた。現在も交流が続いており、今後は公民館の子育て支援団体として、団体を確立していく方向となった。

赤ちゃんと二人きりで家にこもってしまっているという母親も多く、毎週講座を楽しみにしていたという声や、講座をきっかけに前向きになれたという声を多く聞くことが出来た。同じような状況の親子へ、少しでも前向きなきっかけづくりとなるよう来年度以降も実施していきたい。

子育て支援ボランティア講座

(1) ねらい

- ①子育て支援をする際に役立つ基本的な知識や技術を学習機会とする。
- ②講座を通じ、家庭教育学級の託児協力者等、子育て中の親や子どもたちを支援する地域のボランティアを育成する。
- ③妊娠中などで子育てを目前に控える若年層の啓発に役立てる。

(2) 概要

家庭教育学級「すこやか学級」第3回受講者との合同開催。公民館報、チラシ、HPを通して参加者を募集。延べ参加者14名（うち家庭教育学級受講者7名）。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/19(水) 10:00~11:20	ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング	講義	子育て支援課長 竹渕 亨	14 (※)

(※) 家庭教育学級受講者7名を含む。

(4) 評価と反省

今回、家庭教育学級受講者との合同開催を実施。幅広く周知を行なったが、一般参加者は7名ほどであった。受講人数は多くなかったが、子育て中の母親のほか、地域寺子屋関係者などが参加し、講座内容は大変好評であった。



子育て支援講座ほめトレ！

しかし、家庭教育学級との合同開催にあたり、託児を行なう回であったため、託児担当の地区保健推進員およびボランティア連絡会員から、受講出来なかったことが残念との声もあった。

今後は、子育て支援講座の対象をどのように設定するか検討すること、また、入念に周知を行い、受講者を増やすことが必要だと感じた。

プレイルーム元総社

(1) ねらい

文化的な活動や工作を通して、

- ①子どもの豊かな心を育む。
- ②学校（注：元総社地区には小学校が3校あり、それ以外の小学校に通う児童もある）や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。
- ③親子の交流の場を提供し、絆を深める。

(2) 概要

元総社公民館と元総社地区ボランティア連絡会の共同で運営。小学1～4年生の児童及び年長の幼児（幼児は保護者同伴）を対象とし、小学校や保育所へのチラシ配布と公民館報、HPを通して、各回ごとに参加者を募集。なお、クリスマス会のみ、小学校6年生までの児童および乳幼児として、対象制限を拡張して実施している。延べ参加者数 305名。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/24(土) 10:00~12:00	スポーツチャンバラ体験	実技	群馬県スポーツ チャンバラ協会 大崎 美弥子 元総社ボランティア 連絡会	36
2	7/29(土) 10:00~11:20	かわいいタオル犬つくりま せんか?/ビンゴ大会	実技	会員講師 大関三枝子 /沖津 早苗 元総社ボランティア 連絡会	29
3	10/14(土) 10:00~11:40	こども電気教室 クリップモーターを つくろう!	実技	小栗 孝弘(関東電 気保安協会)ほか 元総社ボランティア 連絡会	28
4	11/11(土) 10:00~11:40	調理実習 「ハンバーグをつくろう!」	実習	会員講師 大関三枝子 元総社ボランティア 連絡会	32
5	12/26(火) 13:35~15:00	クリスマス会(人形劇)	観賞	おはなしの会 「もこもこ」 元総社ボランティア 連絡会	180

(4) 評価と反省

元総社地区ボランティア連絡会協力により、児童対象の地区催事として長年定着している。参加児童は、年代や学校区を超えた交流を図り、子ども同士に加えボランティア会員との交流により、近年少なくなった地域の人とのふれあいも大切にしている。今年度は、各回ごとのチラシを作成し、広く周知を行なった結果、昨年度より全体で4割ほど参加者が増加した。

クリスマス会では、保育所や福祉作業所、デイサービスセンターからも参加者を招き、さらに一般募集では、対象制限を拡張して大々的に行なっている。人形劇開催のほか、クリスマスソングの合唱や、サンタクロースの登場等があり、子どもたちは毎年盛り上がっている様子である。とくに、福祉作業所やデイサービスセンターからは、自力開催が難しいゆえに継続希望の要望があるため、今後も継続したいと考える。

講座内容は、定例化しているものもあるが、今年度新たに実施したスポーツチャンバラ教室は好評であり、今後も適宜新たな企画を取り入れ、講座内容の充実を計りたい。

一方で、ボランティア会員の高齢化に伴う人員減少傾向や、児童の長期休み期間以外は土日祝日開催のため、会員への負担軽減を考慮する必要がある。



ハンバーグづくり、みんなで試食（第4回）



クリスマス会（第5回）

4 ライフステージ

夏休み元総社少年教室

（1）ねらい

- ①創作体験や集団での活動を通して、自主的に考え工夫してものづくりをする力を育む。
- ②学年や学校、世代を越えた交流を通して子どもたちのコミュニケーション能力を向上させる。
- ③歴史的資源を見学、また触れることによって、地域の歴史に対する理解と愛着を深める。

（2）概要

元総社地区在住の小学生を対象とし、小学校の夏休み期間に講座を開催した。
延べ参加者数：157名

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/25（火） 13:30～15:30	陶芸教室 ①形を作る・素焼き	実習	自主グループ 楽友会	30
2	8/9（水） 10:00～11:00	陶芸教室 ②色付け・本焼き			28
3	8/22（火） 13:30～14:30	陶芸教室 ③底面磨き・作品鑑賞			28
4	7/24（火） 13:30～15:30	勾玉づくり教室	実習	文化財保護課職員	27
5	8/1（火） 9:30～12:00	総社歴史資料館へ たんけんに行こう！	見学	総社秋元公顕彰会	12

6	8/23 (水) 13:30~15:30	夏休みおもしろサイエンス	実習	NPO 教育支援協会 北関東	31
---	-------------------------	--------------	----	-------------------	----

(4) 評価と反省

昨年度に引き続き勾玉づくり、今年度初めて取り入れた総社資料館見学など、歴史的資源が豊富な元総社地区の特色を活かした教室を開催した。資料館見学は古墳の中をのぞいたり、ipad を使いながら遺跡を3Dで見たりと高学年の児童には好評だったようだ。しかし、低学年の児童には内容や言葉が難しすぎたのか、途中で飽きてしまう様子がみられた。参加者を高学年に絞るなど、工夫が必要だったと感じた。

陶芸教室は自主グループから5～6名講師をお願いしているが、グループによって講師の手出しに差があり、やり方が分からず戸惑っている子どももいたため、大人がどこまで手を貸すのか、あるいは、参加人数をもう少し絞った方が良いのか、講師側と打ち合わせが必要だと感じた。また、毎年お皿を作っているため、内容についてもマンネリにならないよう検討していきたい。

サイエンス系の教室は、どこの地区でも人気があるようなので取り入れてみたが、申し込みの段階で何人もキャンセル待ちが発生し、子どもたちの関心の高さがうかがえた。講師側からの要望でグループごとの学年に偏りがないよう編成したが、初対面でも高学年が低学年の面倒を見るなど、協力しあって創作活動する様子が印象的であった。NPO 教育支援協会が開催している教室は色々なメニューがあるので、来年度以降も取り入れてみたい。



ヤスリをかけています(勾玉づくり教室)



どんな形にしようかな?(陶芸教室)



古墳の中はどうなっているんだろう?



入浴剤で噴火を再現(サイエンス教室)

ベテラン学習講座

(1) ねらい

急速に進行する高齢化を踏まえ、以下3点を目的に開催した。

- ①地域の高齢者の集いの場・仲間作りの場の提供
- ②健康に関心を持ち、喜び・生き甲斐を見出す機会の提供
- ③地域で活躍する人材の育成

(2) 概要

元総社地区在住の60歳以上の男女を対象に実施。(第1回・第2回は、それ以外の一般参加者も受け入れる公開講座とした)

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/31(木) 9:30~11:30	開級式(館長・担当) / 「健康寿命を延ばす方策」 「グループワーク」 (公開講座)	講義・実習	老年病研究所理事長・同付属病院長 高玉 真光 / 地域包括支援センター西部 職員4名	35
2	9/26(火) 14:00~15:40	「上野国府と国分寺について」 (公開講座)	講義	前橋市教育委員会文化財保護課嘱託員 前原 豊 (文化財保護課講師依頼)	65
3	10/6(金) 9:30~11:20	①「わたしたちの環境」 ②「バス・タクシーに乗って出かけてみませんか？」	講義	①前橋市環境政策課環境保全係長 中嶋 繁 他2名 ②同 交通政策課地域交通推進室 飯塚 弘一 (いずれも出前講座)	15
4	11/1(水) 9:30~11:20	「笑いの体操 『ラフターヨガ』」	実技	群馬ラフターヨガクラブ講師 女屋 かほる 狩野 守	9
5	11/7(火) 9:00~11:30	「来て見て体感! 3Rバスツアー」	講義・見学	ごみ減量課職員・清掃施設整備室担当者・荻窪清掃工場長 (出前講座)	13
6	11/13(月) 9:30~11:07	「スポーツ吹矢をやってみよう」 / 閉級式	実技	日本スポーツ吹矢協会後任指導員 森 良弘 (出前講座・市民講師)	7

(4) 評価と反省

従来からの「高齢者教室」の呼称を本年度「ベテラン学習講座」と改め、高齢者層の集い、仲間作りや健康といった従前からのテーマに加え、地域に対する関心をより一層啓発することをめざした。

しかし全体には、前年に比べて参加が低調となった。実施期間が比較的長期となり、事前の広報周知は図ったものの、全期間について必ずしも関心を惹き付けるテーマを編成できなかつた結果と思われる。

一つの試みとして、第3回「わたしたちの環境」では、講師（環境政策課）側にあらかじめ依頼し、元総社地域を流れる地元河川にテーマを当てて、その水系の特徴や魚類等生態系の実態、水質浄化の課題などを平易に解説してもらった（従前の高齢者教室では例が少ない内容で、比較的講評であった）。

健康増進を目指しての実技回であった第4回・第6回への関心を十分喚起できず、参加者が少なかったことは、今後の検討課題となった。

次年度についても、夏期・冬期は高齢者の外出自体が控えられるため、各種行事との調整を図りながら引き続き秋期開催を図りたい。

元総社公民館では過去の高齢者教室でスポーツ吹矢の自主学習グループが立ち上がった実績がある。今回は参加者の活動喚起に至らなかったが、次年度以降も同様な発展の可能性を持つ新たなテーマでの講座開催を図りたい。また可能であれば開催期間の短期集中化も図り、高齢者の継続参加意欲を高めてゆきたい。



荻窪清掃工場見学（資源ごみ梱包）



スポーツ吹矢の体験光景

5 地域づくり講座

歴史講演会『国府で何が行われていたか？—地域における国府の役割と機能—』

(1) ねらい

①地域の特色である歴史的資源について理解を深め、地域住民の郷土愛を醸成する。

②高崎市国府地区で開催される「上野国分寺まつり」に先立ち、上野国府と上野国分寺の関連性、歴史的意義について、元総社地区住民の事前理解を深める学習機会とする。

(2) 概要

元総社地区住民を対象に実施。出席者20名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/5(木) 18:30～ 20:00	歴史講演会 「国府で何が行われていたか？—地域における国府の役割と機能—」	講演	馬県立前橋女子高校 教頭 飯塚 聡	20

(4) 評価と反省

以前、「上野国分寺まつり」の中で飯塚先生による講演会があったと聞き、今年度の上野国分寺まつりに先立ち、講演会開催について飯塚先生に依頼した。

当日は、講師作成の詳細な資料に基づき、国府にまつわる様々な事柄について講演していただいた。基本的な情報はもとより、マニアックな情報も含まれており、歴史に詳しい方もそうでない方も満足できる内容だったと思う。ともすれば難しく専門的な内容になりがちなテーマではあるが、講師の軽妙かつユーモラスな語り口により、参加者は飽きることなく最後まで楽しんで講師の話に耳を傾けていた。

講演会の日程が決まった後、同じ日程で上野国分寺まつりの会議日程が入ってしまう等、一部の関係者の方には参加していただくことができなかったが、後日、講師作成の資料を送付させていただいた。残念ながら今年度の上野国分寺祭りは悪天候のため中止となってしまったが、地域住民の歴史に対する理解や郷土愛を深める機会にはなったのではないかと思う。



講演の様子



受講者の様子

ぐんまの伝統食を楽しむ会

(1) ねらい

- ①ぐんまの伝統食を作って食する機会を通し、その継承と地域住民の交流を図る。
- ②地域の人材を活用し、継続的なボランティア活動につなげ、地域づくりを推進する。
- ③老若男女幅広く参加者を募集し、世代間交流を図る。

(2) 概要

元総社地区住民を対象に実施。

在籍者数：25名 延べ出席者数65名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/10(金) 9:30~12:00	赤飯・おから	体験学習	元総社地区食生活改善推進員 9名	23
2	11/24(金) 9:30~12:00	おきりこみ・きんぴら	体験学習	元総社地区食生活改善推進員 9名	17
3	12/8(金) 9:30~12:00	ふかしまんじゅう・けんちん汁	体験学習	元総社地区食生活改善推進員 9名	25

(4) 評価と反省

今年度も元総社地区食生活改善推進員の皆さんに講師を引き受けていただき、開催した。

今年度の講座メニューについて相談させていただいた際、公民館担当が事前に作成したメニュー案をもとに、料理の組み合わせや実施する順番について講師側で検討してくださり、より満足度の高い充実した内容とすることができた。

また、最終回終了後、講師側の配慮により、余った食材(小麦粉)と講座で作成したあんこについて、お土産として参加者に配ることができた。

今回も40代~80代と幅広い年代の方に参加していただくことができた。男性も昨年度と参加人数こそ変わらないものの、積極的に力仕事をしたり班員をまとめたりするなど、存在感を増しており、他の参加者からも頼りにされていたのが印象的だった。

アンケート結果からも高い満足度がうかがえた一方で、「もう少し落ち着いた雰囲気の中(少ない人数)で参加したい」「講師によっては説明の仕方が怖い(叱られているように感じる)」「紛らわしいので、自宅作成用のレシピは講座終了後に配ってほしい」など、これまでにはなかった新たな課題も浮上した。ただ、楽しかったという意見や次年度開催を望む声も多く、講師と課題を共有しながら、次年度に向けて準備を進めたい。

また、講座の内容について、数年前に実施したことのあるメニューもあり、

毎年参加している参加者からはマンネリ防止についての意見もいただいた。なるべく実施したことのないものの中で、ニーズのありそうなメニューについて検討したい。



『おきりこみうどん』と『きんぴら』



楽しくおしゃべりしながら調理・試食しました

スマホの安心安全な使い方講座(予定)

(1) ねらい

- ①現在急速に普及しているスマートフォンについて、実際に操作することを通し、新しい情報媒体への理解を深める。
- ②スマートフォンの操作体験を通し、地域住民同士や世代間の交流促進を図る。
- ③生活情報の入手や連絡手段としての活用方法を学び、災害等緊急時のスマートフォン活用について関心を高める。

(2) 概要

元総社地区住民（高校生以上）を対象に実施。定員10名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	未定(3月上旬予定)	スマートフォンの操作説明・体験	講義 操作 体験	未定	10

(4) 評価と反省

昨年度実施時、「来年度も開催してほしい」との声が多かったため、今年度も開催を予定しているが、詳細は未定。

6 文化祭

(1) ねらい

地域住民の学習、文化活動、ならびに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深

めることを目的とする。

(2) 概要

事業名：第32回元総社地区文化祭

周知方法：公民館報、戸別配布チラシ、フェイスブック等で周知

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
10/27 (金) 14:00~16:00	作品展示	俳句・陶芸・水彩画・切り絵・水墨画・編み物・絵手紙・書道・パソコン・一般作品 地域づくり・保育所・幼稚園・小中学校・作業所他 (場所:第1・第2会議室、視聴覚室、廊下壁面、玄関・ホール前ロビー)	2,711 延べ参加者数
10/28 (土) 9:00~16:00			
10/29 (日) 9:00~14:00			
10/28 (土) 10:30~11:30 12:00~13:30	【子ども広場】 体験学習	【体験学習】アンサンブル響演奏会・勾玉づくり体験 (会場:ホール/屋外)	
10/28 (土) 11:00~14:00	模擬店ほか	【模擬店・健康教室】ヨーヨー・綿菓子・ポップコーン・清涼飲料水・フランクフルト・チョコバナナ・焼きまんじゅう・焼きそば・健康教室 (会場:屋外)	
10/28 (土) 10:00~12:00	伝統芸能	【伝統芸能】大友百万遍・上宿獅子舞 (会場:ホール)	
10/29 (日) 8:45~9:00	式典	【舞台発表 (伝統芸能含む)】吹奏楽・歌謡・大正琴・合唱・民謡踊り・フォークダンス・だんべえ踊り・フラダンス・太極拳演武・ハーモニカ・リコーダー演奏他 (伝統芸能「総社神社太々神楽」実演を含む) (会場:式典・抽選会共にホール)	
10/29 (日) 9:10~15:10	舞台発表・伝統 芸能		
10/29 (日) 15:30~16:00	抽選会		

(4) 評価と反省

相次いで台風等襲来や衆議院総選挙実施などに苦慮しつつ準備を進めた
が、10月28日~29日当日も荒天下での実施となり、参加者は昨年(3,
268人)に比して大きく減少した。伝統芸能の分野で新たに、地元の奇祭と
して知られる「大友百万遍」の実演にこぎつけたほか、舞台発表・模擬店等
の運営で作業分担・時間配分等の全面的見直しを図り、運営関係者の負担軽減に
努めた。

近年、県・市等企画により秋季イベント多数が新たに企画され、各自治会
および公民館事務局に協力動員がかかることから、10~11月の行事日程

が極度に過密化している。従前の担い手であった自治会・PTA・公民館利用団体だけでは人手が不足しており、地区内居住・通学の若者を対象とした外部ボランティア参加を推進してこれに対処したい。



音楽体験教室（アンサンブル響）



舞台発表（元総社中学校）



展示作品（陶芸／俳句）



伝統芸能（大友百万遍）

7 自主学習グループ事業

(1) ねらい

- ①公民館を利用し活動をしている自主グループリーダー相互の学びあいと交流を図る。
- ②自然災害が多発するなか、前橋の気象の特性や異常気象について学ぶことで日々の生活に役立て、災害から身を守る方法を学習する。
- ③研修を通して学んだことを、地域に還元できるような体制づくりの推進を図る。

(2) 概要

公民館利用自主グループ代表並びに会員を対象に実施。

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
---	----	---------	------	-------------	----

1	11/8 (水)	野外研修 ～静岡県富士花鳥園と 山梨県西湖いやしの里根場～	視察	なし	25
2	2/1 (木)	まえばし出前講座 「前橋の気象」	講義	危機管理室 防災アドバイザー 栗原 弘一	32

(4) 評価と反省

研修旅行は自主グループ連協の役員会にていくつかの案を出し、それぞれ所属する団体へ持ち帰り、会員の意見を聞いて多数決により行き先を決めた。参加人数は多くはなかったが、紅葉に囲まれながら地元名物の食事を楽しむなど、普段顔を合わせない会員同士交流が持て、色々な話ができたとの感想があった。

これから実施予定の、まえばし出前講座を利用した「前橋の気象」についても、役員会にて出前講座の一覧を配布し、興味があるもの、学びたいことなどについて意見を募った。当日は平成30年度の減免申請説明会と合わせて、出前講座を行った。

参考:元総社公民館利用自主学習グループ連絡協議会行事

回	月日	内容等
1	4/13 (木)	総会
2	5/14 (日)	元総社地区のびゆくこどものつどい参加 (車椅子体験コーナー)
3	10/27 (金) ～ 10/29 (日)	第32回元総社地区文化祭 ・作品展示・舞台発表・こども広場に参加 ・のぼり旗作成
4	11/8 (水)	研修旅行 (静岡県富士花鳥園、山梨県西湖いやしの里根場)
5	12/4 (月)	元総社公民館大掃除
6	1/21 (日)	元総社の子どもを明るく育てるつどい参加
7	1/15 (月) 発行	グループ連協だより第49号発行
8	2/1 (木)	自主グループリーダー研修会 (まえばし出前講座「前橋の気象」)

8 その他の事業

児童生徒の人権教育に係る作品 (標語や作文、ポスター等) の活用

(1) ねらい

地区内小中学校の生徒・児童が作成した人権教育に係る作品を、地区内に周

知・提供することにより、地区内人権意識の向上と啓発を図る。

(2) 概要

市教育委員会から各学校への協力依頼に基づき、公民館からも地区内の小・中学校へ作品の提供依頼を行い、12月下旬から翌年1月下旬まで館内の廊下で人権作文や標語等の展示を実施した。

(3) 内容

【展示作品】

元総社中学校:人権作文 人権標語

元総社小学校:人権学習の取り組みまとめ(作文・標語含む)

元総社南小学校:人権標語

元総社北小学校:人権標語

(4) 評価と反省

公民館玄関・展示場所に人権作品展示中のむねを掲示、一般の来館者に読んでいただけるよう図ると共に、フェイスブックでの作品展示PRも行った。毎年1月に公民館で開催される地区行事「元総社の子どもを明るく育てるつどい」期間中も展示を継続、地域住民の啓発を図った。

学校によっては在校生全員の作品を提供してきた事例もあり、先年来の取り組みの浸透が実感された。次年度以降も同様な活動が継続できるよう働きかけを続けたい。



児童生徒の人権教育作品(標語・作文等)の活用

9 各種支援事業

子ども会育成 指導者・リーダー研修

(1) ねらい

①地区内の育成会を対象に初級指導者講習会を実施し、各育成会の資質向上を図る。

②地区内の小学5・6年生を対象にリーダー研修会を開催し、学校区や学年を越えた児童の交流を図る。また、自分達で考え協力しあうことを通して、リーダーとしての資質向上を図る。

(2) 概要

参加者：指導者講習56名、リーダー研修138名（引率含む）

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
4/30（日） 5/14（日）	初級指導者講習会 子ども会育成会の養成	講義 実技	地区子育連 上級指導員 前橋市消防局 西消防署	56
7/22（土） ～7/23（日）	第61回リーダー研修会 魚釣り・ハイキング・ 榛名神社参拝他	実技	地区子育連役員	75
11/18（土） ～11/19（日）	第62回リーダー研修会 中之嶽神社参拝・ ハイキング・クラフト製作・ 自然史博物館見学他	実技	地区子育連役員	63

(4) 評価と反省

今年も地区内の育成会役員を対象に市民サービスセンターホール及び前橋市消防局西消防署にて初級指導者講習会を行った。講師である上級指導員の城田氏作成の資料をもとに、望ましい育成指導者としてのあり方について、元総社地区の歴史を踏まえた講義をしていただいた。例年、結婚を機に元総社地区に住み始めたという参加者も多く、「育成会役員のあり方だけでなく、前橋や元総社地区について詳しく知ることができて良かった」との意見を今年もいただいた。

また、子育連本部役員が中心となり、地区内の小学生5・6年生を対象にリーダー研修を開催した。事前に、昨年度のリーダー研修の様子を撮影した写真を用いてA3サイズのパネルを作成し、地区内小学校へ掲示していただいたところ、例年以上の参加申込みがあった。

夏には、わらび平森林公園キャンプ場を会場に1泊2日の宿泊研修を実施。

本部役員やシニアリーダー指導のもと、参加児童は自分達で協力しあいながら、ハイキング・野外炊飯等を行った。天気恵まれるとき綺麗な星空が見られるのだが、残念ながら雨に降られてしまった。しかし、星は見られなかったものの、天体に詳しい方が天体教室を急遽開催してくださり、子ども達も大人も熱心に聞き入っていた。

秋には、妙義青少年自然の家での宿泊研修を行った。天気が心配だったものの、雨に降られることもなく、登山やバーベキュー等無事行うことができた。夜は澄んだ空気のもと、一面の星空を眺めることができた。2日目は天気に恵まれ、紅葉の美しい山々に囲まれながらラジオ体操、こんにやくパークでのゼリー作り体験を実施。夏・秋のリーダー研修ともに、子ども達にとって忘れられない、かけがえのない思い出になったのではないかと思う。

また、昨年度参加してくださった5名のシニアリーダーの方に、今回も夏・秋ともに参加していただくことができた。それ以外にも、夏・秋ともに更に3名ずつ、新たなシニアリーダーに参加していただくことができた。本部役員やシニアリーダー間の連携もうまく行き、大きな事故・ケガ等もなく無事実施することができた。実施する中であがってくる課題についても1つひとつ対策を検討し、よりよい運営について取り組んできた。

リーダー研修の趣旨として、リーダーとしての資質向上のほか、学校区・学年や性別を越えた交流を通しての仲間づくりがある。リーダー研修に参加した学校区の違う児童同士が、後日、街中で再会した際、楽しそうに会話をしていたという話が、参加児童の保護者から寄せられた。リーダー研修を通して得た体験や育まれた絆は、彼らが中学校へ進学した際、彼らの支えとなってくれるものと思う。



夏のリーダー研修 集合写真



秋のリーダー研修 妙義の自然に囲まれて

団体育成援助事業・各種団体事業活動

回	月日	事業内容等	参加対象	人数	会場
各実行委員会	5/14 (日)	のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場	地区住民	2,900	元総社公民館
	10/1 (日)	市民運動会	地区住民	2,700	元総社小学校
	10/27 (金) ～10/29 (日)	文化祭	地区住民	2,711	元総社公民館
	1/21 (日)	元総社の子どもを明るく育てるつどい	地区住民		元総社公民館
体育推進委員会	5/21 (日)	グラウンドゴルフ大会	地区住民	200	元総社北小学校
	6/18 (日)	ソフトバレーボール大会	地区住民	85	元総社中学校
	7/23 (日)	スローピッチソフトボール大会 (雨天の為中止)	地区住民		元総社北小学校
	8/20 (日)	西部地区女子バレーボール大会	西部地区住民	160	第六中学校
	9/3 (日)	ソフトドッジボール大会	地区住民	180	大渡体育館
	11/12 (日)	スマイルボウリング大会	地区住民	220	元総社北小学校
	2/18 (日)	ディスコン大会	地区住民		元総社中学校
子育連	7/22 (土) ～7/23 (日)	第61回リーダー研修	地区小学生5・6年	54	わらび平森林公園キャンプ場
	11/18 (土) ～11/19 (日)	第62回リーダー研修	地区小学生5・6年	44	妙義青少年自然の家
	12/10 (日)	元総社地区上毛かるた大会	地区小学生	209	元総社小学校体育館
老人クラブ 連合会	7/20 (木)	老連グラウンドゴルフ大会	地区老連会員	129	大友町さくら公園
	8/3 (木)	老連スマイルボウリング、輪投げ大会	地区老連会員	109	元総社公民館

地域づくり協議会	7/9 (日)	三世代 スマイルボウリング大会	地区住民	177	元総社小学校
	9/2 (土)	子どもと地域とのかかわりを考えるつどい (青少年健全育成会)	地区住民	133	元総社公民館
	11/19 (日)	元総社地区 歴史ウォークラリー	地区住民	29	元総社公民館
	11/26 (日)	元総社地区防災訓練	地区住民	181	元総社公民館
	2/4 (日)	元総社郷土かるた大会	地区住民	94	元総社公民館